

ECM社 新しい高性能超音波診断装置
「IMAGYNE」を開発
(2008/6/10)

20年以上にわたり超音波診断装置を専門とするフランスのメーカー、ECM社は、新しい高性能超音波診断装置「IMAGYNE」を開発した。医学分野に適用された最新技術で設計された「IMAGYNE(イメージヌ)」を用いることにより、医師は信頼性が高く、迅速な診断が可能となる。

コンパクトで美しいデザインのIMAGYNEは、高性能超音波診断機能(ポストプロセッシング、CFM、PW、4D、ズームなど)をすべて備えている。ユーザーインターフェースがシンプルで直観的なため、ユーザーはIMAGYNEが持つ様々な機能を短時間のうちにマスターできる。使い易く高性能なIMAGYNE超音波診断装置は優れた画質を提供する。

IMAGYNEは汎用性があり、様々な種類のプローブ(コンベックス、マイクロコンベックス、経膈、リニア、フェーズドアレイ)が使用可能で婦人科/産科、腹部、血管、胸部、前立腺など、多くの臨床診断に利用できる。

なお、ECM社は、国際販売ネットワークを通して世界中でIMAGYNEを販売するため、日本におけるパートナーを募集している。詳細はウェブサイトにて。



EMC
(IMAGYNE)